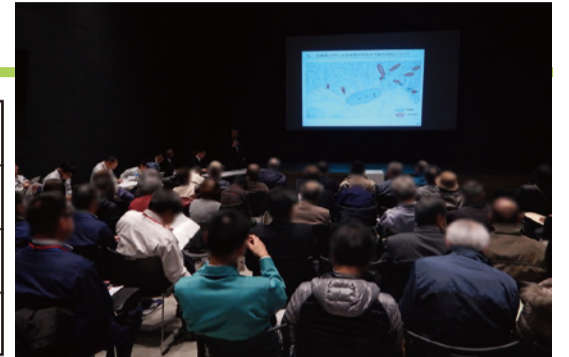




復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

撓まず 屈せず がんばろう釜石!!

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました



開催日	令和2年1月27日(月)
時間	【一回目】15:00~16:32 【二回目】18:30~19:49
場所	釜石情報交流センター 釜石PIT
参加人数	【一回目】57人 【二回目】23人 【合計】80人

議題	1. 本日の趣旨とこれまでの経緯 2. 東部地区の事業スケジュールについて 3. 空き区画公募について 4. 街路灯・防犯灯の設置について 5. 台風第19号による被害状況及び今後の対応について 6. 避難路・避難所について	7. (仮称)尾崎町郷土芸能伝承施設改築工事について 8. 釜石港海岸・釜石漁港海岸の防潮堤について 9. 甲子川水門の進捗状況について 10. 意見交換
----	---	--

当日はこれらの議題について担当より説明いたしました。出席された皆さまからは、東部地区の事業スケジュールについてや台風第19号による被害状況及び今後の対応についてなど様々なご意見、ご質問をいただきました。

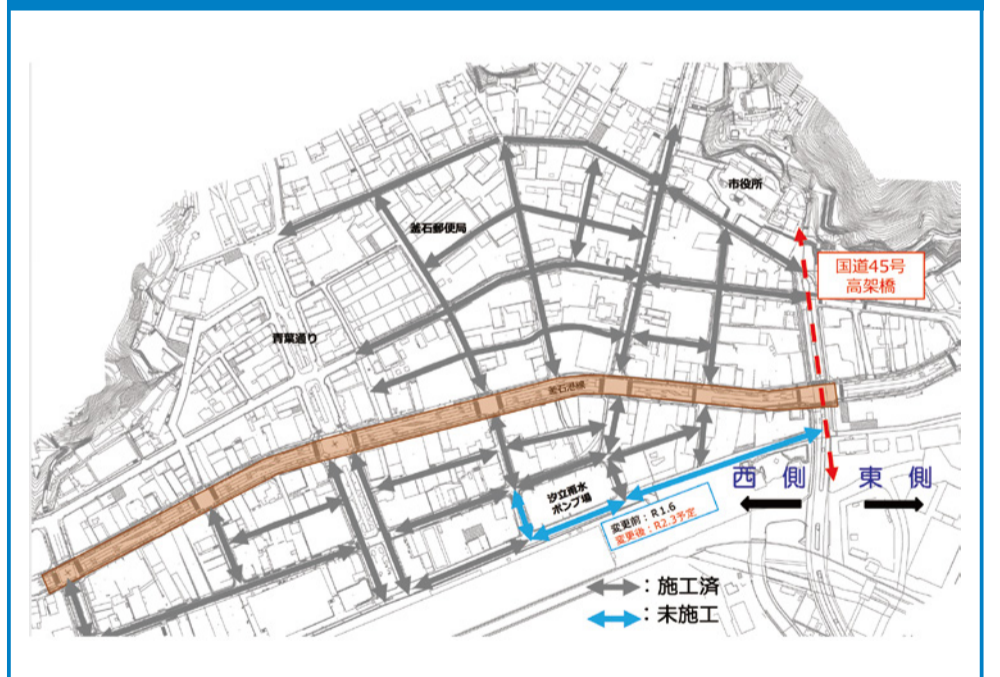
議題の概要

最新の土地利用計画について

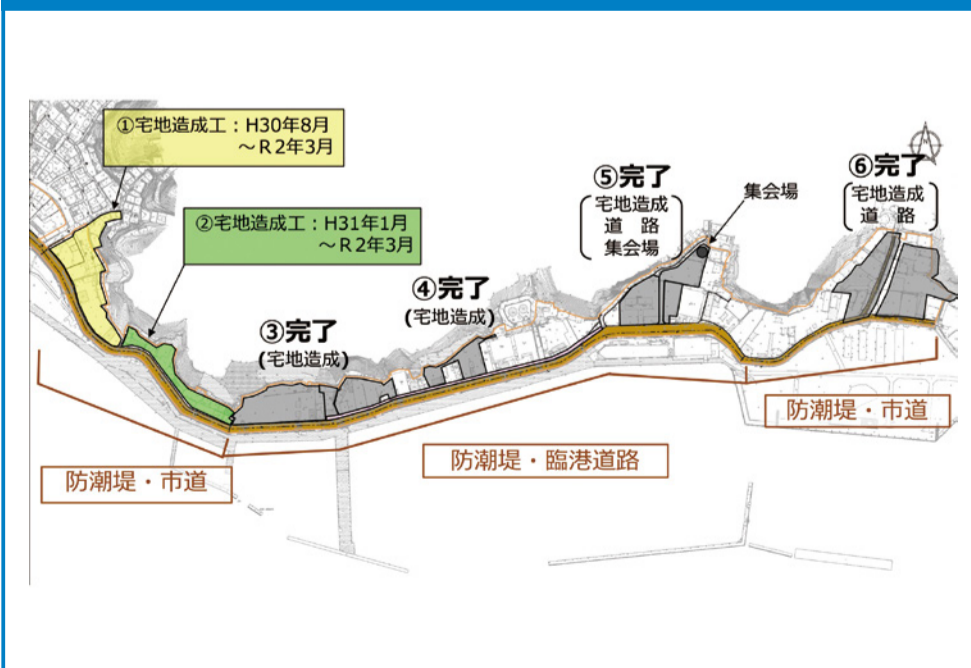
東部地区の事業スケジュールについて



東部地区国道45号西側の各路線の完成見込み時期



東前町・新浜町地区造成工事の完成見込み時期



グリーンベルト(避難路)整備事業の完成見込み時期



このようなご意見・ご質問をいただきました



東部地区の復興事業を進めるにあたり港町地区や浜町地区の近隣住民の方たちには用地買収だけではなく、代替地の提供などの配慮はしているのか。

基本的に東部地区へ居住をお考えの方には代替地をご紹介させていただき、用地買収の実施をしております。

防潮堤の階段について、漁師さんが使っている船着き場のところには現在階段がないのだが、今後設置の予定はあるのか。

確認してニュースレターで回答させていただきます。

→質問の場所の陸閘は、津波の水位上昇によって自動的に閉鎖する構造であり、津波到達前には開いたままの状態であるため、避難階段は設置しません。なお、津波警報等の発令を受け、遠隔操作により閉鎖する陸閘には階段が設置されています。

台風第19号による水害の地域をもう一度調査して、現実に浸水や土砂災害がどの辺まで想定されるのかということの把握をしてほしい。

現在、発生箇所や浸水箇所、被災箇所を現地を歩きまわして、測量等をしながら調査させていただいております。

大只越の暗渠の詰まりや、ふたを越えての越水等の現状はわかっているのか。いずれ直す予定はあるのか。

越水や、市内各所の土砂のたまりなどの状況は十分承知しております。蓋のかかった水路の底は結構荒れてひどい状況ですので、今年度はコンクリートでの補修の実施を予定しております。

台風第19号の被害状況の調査はどの辺までしているのか。

これまでも災害復旧等で調査が入っているところがありますが、被災の多かったエリアの部分は現在調査を実施しており、対策についても学識経験者の皆様方初め専門的知見をお持ちの方からご意見を頂戴しながら対策を講じて計画を策定していくというような状況です。

台風第19号被害による修繕工事をする際は、何日か前に近辺の住民へ工事の通達をしていただきたい。

市が実施する工事については、我々管理する立場として、皆さんにご迷惑をかけるようであれば、必ず事前に周知させたいと考えております。

この前の台風第19号で浸水被害があり造成をしてもらったが、今後また大きい台風が来た場合の対策はとってもらえているのか。

全て調査、検証をする予定です。検証をする中で有識者の方々からのご意見もあると思いますので、そちらの意見も参考にしながら、対策については、説明会という形でお示ししたいと考えております。

急傾斜地の多い釜石において、治山治水の関係の事業の進め方に対して県はどういう考えを持っているのか。

現在、釜石、大釜で毎年継続的に実施をしているという状況ですが、どこまで進んでいくかというお話になると、全県的に家が多いとか、避難所があるといったところの優先順位をつけながら事業を実際に進めていくような形になります。

尾崎町の郷土芸能伝承施設の改築工事ですが、市の財政が逼迫しているであろう状況の中で、住民との調整はどのようなきざつを持ってこの計画になったのか。

尾崎町の郷土芸能伝承施設の改築工事は以前から改築の要望書が出されており、昨年の要望があったことを受けて、市のほうで予算化しております。工事を実施するにあたりましては、郷土芸能の保存等に使用していただきたいという用途、目的があって寄附されたお金がありますので、その寄附金のほうを使わせていただきながら整備するというようにしております。

水門扉の自動開閉について、高潮と洪水の災害が重複した場合などを想定し、県と市と十分に協議して対策をとるべきではないか。

水門自動閉鎖システムによる水門運用方法については、釜石市と協議しながら検討しており、まずは津波に着目して操作規則というものは設定しました。高潮については次の段階で検討し、釜石市と協議をして参ります。

復興事業については、可能な限り皆さまの期待に応えられるよう進めて行きたいと考えております。

1日も早い復興事業の完了に向け、今後も全力で取り組んで参りますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については、「広報かまいし」や市のホームページでも公開しております。併せてご覧ください
<http://www.city.kamaishi.iwate.jp>

協議会等に関するお問い合わせ

釜石市復興推進本部 TEL:0193-27-8479
FAX:0193-22-2686